



[シラバス検索](#) > [シラバス検索結果](#) > シラバス詳細

■ 科目名					
特別講義 (1単位)					
■ 講義題目					
大学と社会－先輩からの熱いメッセージ－秋					
■ 責任教員 (所属)					
亀野 淳(高等教育推進機構)					
■ 担当教員 (所属)					
亀野 淳(高等教育推進機構) 三上 直之(高等教育推進機構) ラフェイ ミシェル ケイ(大学院文学研究院) 弓巾 和順(大学院文学研究院)					
■ 科目種別	全学教育科目(総合科目)		■ 他学部履修等の可否	可	
■ 開講年度	2019	■ 期間	2 学期 (秋ターム)	■ 時間割番号	000415
■ 授業形態	講義	■ 単位数	1	■ 対象年次	1～
■ 対象学科・クラス	基礎1-53組		■ 補足事項		
■ ナンバリングコード	GEN_LIB 1130				
■ 大分類コード	■ 大分類名称				
GEN_LIB	全学教育 (教養科目)				
■ レベルコード	■ レベル				
1	全学教育科目 (語学上級科目、高年次対象科目を除く)				
■ 中分類コード	■ 中分類名称				
1	総合科目				
■ 小分類コード	■ 小分類名称				
3	特別講義				

言語

日本語で行う授業

キーワード

卒業生、学生生活、職業生活、キャリア

授業の目標

充実した大学生活を送るために、北大を卒業し社会の各分野で活躍する方々を講師のお話をもとに、将来のキャリアについて自ら考える能力を身につける。

到達目標

1. 大学生活の意義・重要性と卒業後のキャリアを考えることができる。
2. 卒業後のキャリアをレポートにまとめることができる。
3. 毎回の講師の話に対して積極的に質問することができる。
4. 毎回の講師の話をもとに、自分の考えをレポートにまとめることができる。

※2017年度受講生の受講後のアンケート調査結果

Q1：大学生活の意義・重要性を理解することができましたか？

「できた」96%

Q2：卒業後のキャリアを自ら考えることができましたか？

「できた」87%

Q3：将来のキャリアを考える上で役に立ちましたか？

「役立った」100%

Q4：後輩にも受講してほしいか

「そう思う」88%

授業計画

本授業は、北大を卒業し産業界、行政、マスコミ等さまざまな分野で活躍する方々を講師としてお招きし、学生時代から現在までの体験談や、職業人として活動することを通して「現在あるいは将来の職業人としてどのような資質が求められるか」「そのために大学でどのように学べばよいか」「北海道大学や学生諸君に期待することは何か」などを話していただく。

これらの話をもとに、自らの生活や将来について考え、これらをレポートとしてまとめる。

2019年度の具体的な講師名は、未定であるが、授業計画はおおむね以下のとおりである。

1. ガイダンス（本授業のねらい、内容など）
2. ～7. 外部講師（先輩）による講義
8. 最終まとめ

準備学習(予習・復習)等の内容と分量

予習：毎回、外部講師について事前に各自調べる。

復習：毎回講師の講演に対するコメントをA4、1枚程度にまとめる。

成績評価の基準と方法

おおむね以下により評価を行う。

1. 授業への積極的参画、講義での質問状況など (60%)
2. 毎回の簡単なレポートと最終レポート (40%)

2017年度の成績分布：A+6%、A8%、A-9%、B+28%、B21%、B-8%、C+1%、C11%、D8%

テキスト・教科書

なし

講義指定図書

[〈働く〉は、これから－成熟社会の労働を考える－ / 猪木武徳 : 岩波書店, 2014, ISBN:9784000244756](#)

[キャリアのみかた : 図で見る110のポイント / 阿部正浩, 松繁寿和 : 有斐閣, 2014, ISBN:9784641164383](#)

[大学にいくということ、働くということ / 樋口美雄 : 岩波書店, 1999, ISBN:4000262203](#)

[Life shift \(ライフシフト\) : 100年時代の人生戦略 / リンダ・グラットン, アンドリュー・スコット著 : 池村千秋訳 : 東洋経済新報社, 2016, ISBN:9784492533871](#)

[その幸運は偶然ではないんです! : 夢の仕事をつかむ心の練習問題 / J.D.クランボルト, A.S.レヴィン著 : 花田光世, 大木紀子, 宮地夕紀子訳 出版社 : ダイヤモンド社, 2005, ISBN:4478733244](#)

なし

参照ホームページ

研究室のホームページ

備考

2017年度から秋タームと冬タームに分けて開講しているが、できる限り両方受講することが望ましい。
講演者は秋タームと冬タームでは異なる。

更新日時

2019/01/30 19:23:36

[シラバス検索](#) > [シラバス検索結果](#) > [シラバス詳細](#)

